



## 誤った使い方で大けがを負うことも ～はしご・脚立の事故に注意～

### 1. 事故の発生状況

2010年度から2019年度の10年間にNITEに通知のあった製品事故情報<sup>※1</sup>のうち、九州・沖縄8県ではしご・脚立の事故は合計48件<sup>※2</sup>ありました。

#### (1) 県別および年度別事故発生件数 (表1)

表1 はしご・脚立の事故の県別および年度別事故発生件数 (2010～2019年度)

発生年度	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
2010年度	4	1	0	2	1	0	0	0	8
2011年度	3	1	0	3	1	1	1	0	10
2012年度	1	0	0	1	1	1	2	0	6
2013年度	1	1	1	0	0	0	0	0	3
2014年度	5	0	0	0	0	0	0	0	5
2015年度	0	0	1	0	2	0	0	0	3
2016年度	0	0	0	0	1	0	1	0	2
2017年度	2	0	0	0	0	0	0	0	2
2018年度	2	0	1	0	0	2	1	0	6
2019年度	0	0	2	1	0	0	0	0	3
事故件数	18	3	5	7	6	4	5	0	48

※1:消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含む。

※2:重複、対象外情報を除いた事故発生件数

#### (2) 県別および被害状況別事故発生件数 (表2)

表2 はしご・脚立の事故の県別および被害状況別事故発生件数 (2010～2019年度)<sup>※3</sup>

被害状況		福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重傷	6	2	0	4	2	1	3	0	18
	軽傷	12	1	5	2	4	3	2	0	29
物的被害	拡大被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	製品破損	0	0	0	1	0	0	0	0	1
被害なし		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		18	3	5	7	6	4	5	0	48

※3:表2において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害(製品破損)に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

## 2. はしご・脚立の事故の事故事例

(1) 2018年7月（福岡県、男性、50歳代、軽傷）

### 【事故の内容】

はしご兼用脚立をはしご状態で使用中、転倒して軽傷を負った。

### 【事故の原因】

補助者による支えがないまま、はしご状態で使用していた際に、被害者がバランスを崩して転倒したものと推定される。

なお、本体表示及び取扱説明書には、「はしごで使うときは、必ず大人の補助者がはしごを支える。」旨、記載されている。

(2) 2018年7月（福岡県、男性、70歳代、軽傷）

### 【事故の内容】

はしご兼用脚立を脚立状態で使用中、転倒して打撲を負った。

### 【事故の原因】

被害者が両側の開き止め金具を掛けず製品を背にした姿勢で踏みざんに乗って作業をしていた際、バランスを崩して転倒したものと推定される。

なお、取扱説明書及び本体表示には、「昇降面の左右方向に転倒しやすいので、十分注意して使用する。製品を背にして昇り降りしない。両側の開き止め金具を確実にロックする。」旨、記載されている。

## 3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITEのロゴ」としてください。

**（本件に関するお問い合わせ先）**

**〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原 2-1-28  
独立行政法人製品評価技術基盤機構  
九州支所 担当者 矢代、原田**

**電話：092-551-1315 FAX：092-551-1329**